CASE STUDY

静岡文化芸術大学 様

273台のEIZOモニターが、学生の実践的な学びと創造力を支援

静岡文化芸術大学は文化政策学部とデザイン学部の二つの学部で構成されており、両者が融合することで柔軟に学際的な学びができる点を大きな特長としています。専任教員一人あたりの学生数はおよそ15名から17名程度で、教員と学生の距離が近い環境が整っています。学生同士も学部や学科を越えたつながりを持ち、学びの幅を広げています。

このたび、23.8型液晶モニター「FlexScan EV2460」を204台、27型4K液晶モニター「FlexScan EV2740S」を63台、24.1型カラーマネージメントモニター「ColorEdge CG2400S」を6台導入いただきました。導入の経緯や選定理由、導入後の感想をご担当者にお聞きしました。

図書館・情報センター長　絵本作家
デザイン研究科　デザイン学部　教授
かわ　こうせい 氏

公立大学法人
静岡文化芸術大学
SUAC

モニター導入前の要望
・実際の制作現場に近い学習環境を整備したい。
・長時間の制作作業時に学生の疲れ目や体への負担を軽減したい。

モニター導入後の効果
・プロの制作現場でも使用されるEIZOモニターの導入により、学生が実務に近い環境で学べる。
・目への負担を抑え、長時間でも快適に制作へ取組める。

教育現場のニーズを反映したシステム更新がEIZOモニター導入のきっかけに

導入のきっかけは、5年ごとに行われる学内情報システムの大規模更新です。2026年4月の更新に際しては、各教員へのヒアリングを通じて、教育現場で必要とされる設備や運用要件を整理しました。その中で特に強く求められたのが、映像制作に適したモニター環境の整備と印刷における色合わせ精度の向上です。

映像制作の実習においては、作業領域とプレビュー領域を両立できるモニター環境の構築が求められていました。マルチモニターによる運用、あるいはシングルモニターであれば高解像度モデルの導入を希望する声が多く寄せられました。映像編集では、タイムラインや各種ツールパネルを操作しながら映像を確認する必要があり、作業効率を高めるためには広い表示領域と高い解像度が不可欠だったためです。

一方、大判プリンタを備えた空間演出実験室では、モニター上で確認した色と実際の印刷結果との色差をできるだけ小さくしたいという要望がありました。これまでは試し刷りと修正を繰り返しながら色を調整する場面も多く、調整にかかる時間や用紙コストの面で課題がありました。そのため、正確に色を再現できるキャリブレーション対応のカラーマネージメントモニターの導入が求められていました。

長年の信頼が後押ししたEIZOモニターの採用

こうした複数の要求を満たす選択肢として、EIZOモニターの導入を決定しました。本学では開学以来EIZO製品を採用してきた経緯があり、長年にわたって培われた信頼も導入を後押ししました。実際に教員の中には、「新しい学習環境を検討するにあたって、モニターはEIZOであることが前提だった」といった声もあり、高い表示品質と安定した運用実績が評価されていました。

また、本学ではデザインや映像制作を学ぶ学生が、卒業後の実務を見据えて学べるよう、プロの現場に近い制作環境を整備することを目指しています。プロの制作現場でも使用されるEIZOモニターを利用できることで、学生は実務に近い環境で学べるようになりました。

EIZOモニターは、用途や教室に応じて3機種計273台導入、BYOD運用を支える統一された制作環境の構築に貢献

本学では、2025年度から学生一人ひとりがPCを所有するBYOD（Bring Your Own Device）運用を開始し、学生が使い慣れたPCを活用できる環境を整えました。

一方で、映像やグラフィック制作の授業では、個々のPCのスペックや設定の違いがトラブルの原因となることも少なくありません。そのため、専門的演習を行う教室には統一仕様のデスクトップPCとEIZOモニターを継続して設置しています。これにより、授業では学生全員が一定の色再現性を確保した環境で学べます。

■映像制作教育を支えるGWS室には4Kモニターを導入

GWS（グラフィックワークステーション）室は3DCGや映像制作を行うための実習室として整備されており、Adobe Premiere ProやAfter Effectsなどを活用した実践教育が行われています。GWS室では27型4Kモニターの「FlexScan EV2740S」を活用しています。

従来はモニター2台のマルチモニター構成が標準的でしたが、4K高解像度のEV2740Sを採用して1台構成にしたことで、作業画面とプレビュー画面を一つのモニター内で両立できるようになりました。映像編集ではタイムラインや各種ツールパネルを操作しながら映像を確認する必要がありますが、高解像度化によって十分な作業領域を確保できるようになっています。

また、モニター1台の構成にしたことで机上スペースに余裕が生まれ、ノートや資料を広げながら作業が可能です。学生にとってはプロフェッショナルな制作現場と同様の環境で学べることが大きなメリットとなっており、制作へのモチベーション向上にもつながっています。

EV2740Sの消費電力を抑えた設計や目にやさしい表示モードは、長時間にわたる制作作業を行う教育現場において大きなメリットとなっています。さらに、EV2740Sは7年間の長期保証に対応しており、継続的な運用を前提とする大学運営において、導入後の安心感があることを高く評価しています。

FlexScan EVシリーズの一部製品において、モニターで世界初※となる「7年間標準保証」を2026年6月23日から開始しました。ユーザーのTCO（総所有コスト）低減に貢献するとともに、資源の有効活用や廃棄物削減を推進します。

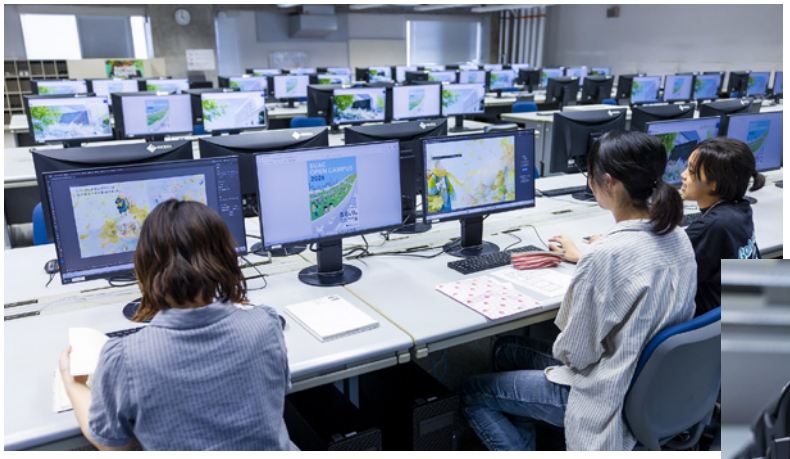
※ 2026年6月当社調べ

▶7年間保証の詳細（ニュースリリース） https://www.eizo.co.jp/press/archive/2026/NR26-005.html

■OA室ではEIZOモニターの高い色再現性が活躍

OA（パソコン実習）室では、Adobe Illustrator、Photoshop、InDesignなどを用いたグラフィック制作やCADを用いた実習が行われています。こうした実習において重要なのが色の再現性です。絵本制作やポスター制作、複雑なレイアウト作業では、画面上で確認した色がそのまま印刷結果に反映されることが求められます。

OA室では23.8型モニター「FlexScan EV2460」を活用しています。ソフトウェア上で設定した色を正確に表示できるようになり、学生は色の違いを気にすることなく制作に集中できるようになりました。さらに、長時間の制作作業が続くデザイン教育の現場では、表示品質だけでなく作業時の快適性も重要です。FlexScanは自動調光機能などの目にやさしい各種機能が充実しているので、学生の目への負担軽減や集中力の維持にも貢献しています。



EIZOモニターの目にやさしい表示で、長時間の制作作業でも快適に

■空間演出実験室では、ColorEdgeが印刷品質向上に貢献

空間演出実験室は、ポスターやパネルなどの大判印刷物の制作を行う実習室です。大型プリンタを備え、学生がグラフィックデザインや展示物、プレゼンテーション用ビジュアルなどを制作する際に利用しています。制作したデータを実際に出力しながら色や仕上がりを確認するため、モニターと印刷物の色合わせが重要となる実験室にはキャリブレーションセンサーを内蔵した24.1型カラーマネージメントモニター「ColorEdge CG2400S」を導入しました。

従来は、試し刷りを行って色味を確認し、データを修正して再度印刷するという工程を繰り返すことが少なくありませんでした。ColorEdgeの導入後は、モニター画面と印刷結果との色差が大幅に減少したことで、試し刷りと修正の往復作業が大きく削減され、学生がよりスムーズに制作を進められるようになりました。また、用紙やインクの使用量削減にもつながり、コストや環境負荷低減の面でも効果を発揮しています。

加えて、モニターに装着された遮光フードによって蛍光灯の映り込みが抑制され、周囲の光に影響されることなく正確な色確認が行えるようになりました。印刷物の完成度を左右する色確認作業において、この環境改善は大きな効果をもたらしています。

付属品を必要最小限に抑えた納品仕様で、管理コストを削減

今回のEIZOモニター導入では、製品の表示性能だけでなく、納品時の対応についても高く評価しています。システム更新時は一度に多くの機器が搬入されるため、一時的な保管スペースの確保が課題となります。そこで今回のモニター納品時には、複数のモニターを一つの箱にまとめる集合梱包仕様をご提案いただき、限られたスペースの中でもスムーズに搬入作業を行うことができました。

これまで新しい機器を導入する際は、使用しないケーブルや付属品、紙のマニュアル類などを保管し続けなければならないケースもありましたが、集合梱包仕様での納品は、付属品も必要最小限に抑えられました。その結果、保管スペースの圧迫が軽減されただけでなく、管理にかかる手間の削減にもつながっています。必要な製品情報や保証情報はEIZOのWebサイトで確認できるため、紙資料を大量に保管する必要がなくなった点も評価しています。

単体梱包：モニター４台分　　**集合梱包**：モニター４台分

EIZOでは法人のお客様のご要望に合わせて、モニター大量導入時の環境負荷を軽減する特別仕様をご提案可能です。複数のモニターを一つの箱にまとめる集合梱包や、不要なスタンドやケーブル等を除いた仕様など、国内自社一貫生産を生かした柔軟な対応が可能です。

▶集合梱包仕様の詳細（ニュースリリース） https://www.eizo.co.jp/press/archive/2023/NR23-014.html

AI時代の教育に求められる「本質を見極める力」を支えるEIZOモニター

近年、AIの進化によってデザインは短時間で大量に生み出せる時代になりました。その一方で、人間には多くの選択肢の中から本質を見極め、選択し、その判断に責任を持つ力がこれまで以上に求められています。その判断を支えるためには、正確な情報を提供する環境が欠かせません。

デザイン教育においては、モニターの色再現性が作品の評価や品質を左右する重要な要素となります。本学では、EIZOモニターを単なる表示機器ではなく、学生の審美眼や判断力を育むための教育インフラとして活用しています。テクノロジーが進化する時代だからこそ、人間の感性や創造力を支える「信頼できる表示環境」の価値はますます高まっています。EIZOモニターは、これからも学生たちの学びと創造を支える存在であり続けると考えています。

■導入製品

FlexScan EV2740S（27.0型 3840×2160）	63台
FlexScan EV2460（23.8型 1920×1080）	204台
ColorEdge CG2400S（24.1型 1920×1200）	6台

■ご協力

静岡文化芸術大学

ホームページ：https://www.suac.ac.jp/

本事例の内容は取材当時のものであり、閲覧時点で変更されている可能性があります。ご了承ください。

EIZO株式会社
〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地
https://www.eizo.co.jp

製品に関するお問合せ　受付時間 月～金 9：30～17：00（祝日、当社休業日を除く）
映像ソリューション営業部 03-5764-3401
札幌営業所 011-737-6601　仙台営業所 022-212-8751　名古屋営業所 052-232-7701　北陸営業所 076-277-6790
大阪営業所 06-4807-7707　広島営業所 082-535-7701　高松営業所 087-869-0877　福岡営業所 092-715-7706

Copyright © 2026 EIZO Corporation. All rights reserved. (260908)